

Amex Trendex：世界7か国で調査した、冬のホリデーシーズンの消費者動向を紹介



<日本のハイライト>

- (過ごし方)** 回答者の90%が年末年始は「家族と過ごしたい」と回答
- (消費傾向)** 食への消費意欲が盛んな傾向、回答者の80%以上が実店舗での買い物を検討、地域の街のお店での買い物を検討している日本の回答者は約40%
- (旅行動向)** 年末年始の旅行において、回答者の約50%が前年と比較してコロナについて心配していないと回答も、他国に比べ慎重な様子

アメリカン・エキスプレス・インターナショナル、Inc.（本社：東京都港区、日本社長：吉本浩之、以下、アメリカン・エキスプレス）は、日本を含む世界7か国で2022年10月11日～18日にかけて冬のホリデーシーズンに関する意識調査「Amex Trendex」を行い、その調査結果を発表しました。本調査における日本の回答結果から、日本では年末年始に家族とともに過ごすことや、食を楽しむことを支持する傾向が強いことなどが分かりました。

・年末年始は家族と過ごす傾向 - 「年末年始は誰と過ごす予定ですか」という質問に対して、世界7か国の平均では、家族（87%）、恋人（40%）、友人（37%）と家族以外の相手とも過ごす傾向も見られたことに対し、日本では家族（90%）、恋人（4%）、友人（6%）と大多数が家族と過ごすことを予定している結果となりました。（図1参照）

・“食”が受け取るギフトでも支出でもトップ - 「年末年始には何にお金を使う予定ですか」という質問に対して、日本では52%が「外食」、32%が「グルメ食品」と食関連の支出が回答のトップ2を占め、食への関心の高さを示す結果となりました。また、「年末年始にギフトとしてプレゼントされたら嬉しいものは何ですか」という質問に対し、日本ではグルメ食品（38%）を支持する回答者が最も多く、現金（35%）、旅行体験（34%）を抑えて、食関連のギフトの人気の強さが見られました。（図2および図3参照）

図1 年末年始は誰と過ごす予定ですか？

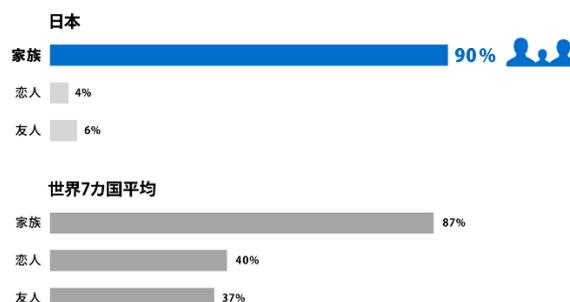


図2 年末年始には何にお金を使う予定ですか？（日本）

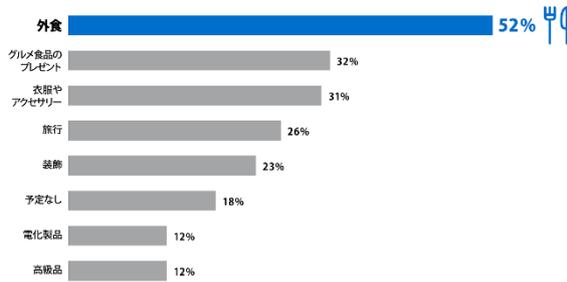


図3 年末年始にギフトとしてプレゼントされたら嬉しいものは何ですか？（日本）

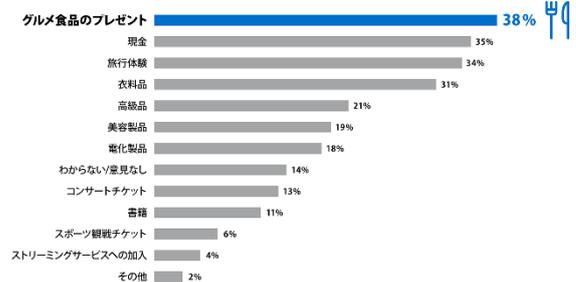


図4 今年は街のお店でホリデーギフトの買い物をしたい

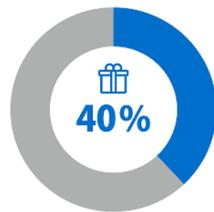


図5 街のお店で購入したいホリデーギフトは何ですか？

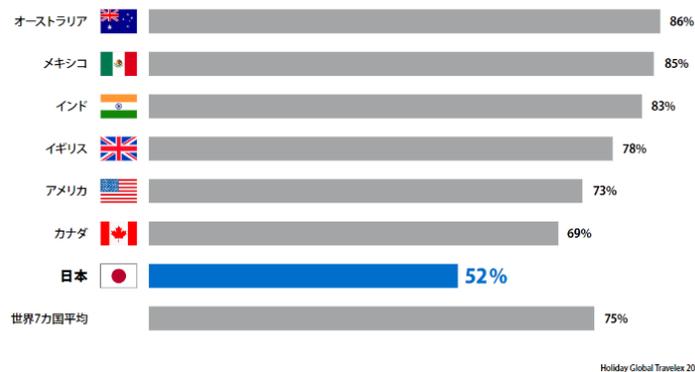


・**実店舗での買い物を強く支持** - 「年末年始の買い物はどこでしますか」という質問に対して、世界 7 カ国の平均ではオンラインストアを選択する人々が 80%、実店舗を選択する人々が 74%となりました。一方、日本ではオンラインストアを利用すると答えた人々の割合が 61%に対し、実店舗での買い物をを選択する人々の割合が 81%に達し、実店舗で実際に商品を手にとって選ぶことも重視する傾向が浮かび上がりました。また、世界 7 カ国の平均では、フェイスブック（19%）、インスタグラム（19%）などソーシャルメディアを媒介した買い物も一定数支持されているのに対し、日本でソーシャルメディアを媒介して買い物をすると答えた人たちは、フェイスブック（3%）、インスタグラム（5%）と限られた割合にとどまりました。

・**地域にある“街のお店”を支援する意向** - 地域に根差した小規模のお店など「街のお店はいま厳しい状況にあると思う」と回答した人は、世界 7 カ国の平均では約 75%、日本においても 50%近くにのぼりました。「街のお店で年末年始の買い物をしたい」と回答した人は日本で 40%となり、地域にある街のお店で買い物する意向が強く表れる傾向が見て取れました。「街のお店で購入したいホリデーギフト」は日本では焼き菓子（39%）、衣服やアクセサリー（29%）、年末年始のおもてなしのプレゼント（27%）がトップ 3 となりました。（図 4 および図 5 参照）

・**旅行需要の回復傾向を見せつつも引き続きコロナは警戒** - 「この冬のホリデーシーズンの旅行は、前回ほど新型コロナウイルスの影響を心配していない」と答えた人たちは世界 7 カ国の平均で 75%に上りましたが、日本では 52%と最も低く、慎重な様子を示しました。半分以上の人たちが警戒を緩めるなど需要の回復傾向を見せつつも、世界と比較すると日本では依然として心配する人が多い傾向が見られました。（図 6 参照）

図6 この年末年始の旅行では、以前ほど新型コロナ感染を心配していない



###

<Amex Trendex 概要>

- 調査期間：2022年10月11日-18日
- 調査対象国：7か国（日本、オーストラリア、カナダ、インド、メキシコ、英国、米国）
- 調査方法：オンライン調査
- サンプル数：米国2000人、日本を含めたその他の国は各1000人ずつ
- 調査対象国全体を網羅した調査結果の概要は、[こちらの](#)サイトでご覧いただけます。（英語のみ）

<アメリカン・エクスプレスについて>

1850年に米国ニューヨーク州にて創立したグローバル・サービス・カンパニーです。個人のお客様向けには多様なライフスタイルをサポートする商品やサービスをお届けし、法人のお客様向けには経営の効率化を実現しうる経費管理やデータ分析のツールを提供し、大規模/中堅企業や中小企業、個人事業主にいたるまで幅広いビジネスの成長を支援しています。日本では、1917年（大正6年）に横浜に支店を開設して事業を開始し、現在では世界180以上の国や地域に広がる独自の加盟店ネットワークとトラベル・サービス拠点を通じ、最高品質のサービスを提供しています。また、アメリカン・エクスプレスのカードは、JCBとの提携により、従来からのホテル、レストランや小売店などに加え、公共料金からスーパーマーケット、ドラッグストアなど日々の生活で使えるお店が拡大しています。

本件に関する報道関係の皆様からのお問い合わせ先

アメリカン・エクスプレス広報事務局（エデルマン・ジャパン内） 後藤
Tel: 080-7751-8149 / E-mail: AmericanExpressJapanPR@edelman.com

アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, Inc. 広報部 浅見
Tel: 070-8711-6424 / E-mail: Kensuke.Asami@aexp.com